



News Letter

No.37

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2019年9月30日発行

【本号のトピックス】

学会設立30周年記念大会のご案内／委員会だより／研究倫理の啓発⑦
DH関連委員会セミナー報告／老健事業に本会事業が本年度も採択される
国際渉外だより／専門医活動レポート・認定者の声／支部だより／学会だより

日本老年歯科医学会 第31回学術大会 (学会設立30周年記念大会) 「健康長寿を支える老年歯科の誇りと決意」のご案内

第31回学術大会大会長 水口俊介

2020年6月19～21日に開催されます学術大会についてご案内申し上げます。一般演題のほかに以下のような企画を予定し、詳細を調整中です。

- ・多職種連携シンポジウム：地域包括ケアシステム構築に向けた歯科の現状と課題（仮）
- ・病院歯科・病診連携シンポジウム：総合病院における歯科の役割
- ・口腔乾燥症 4 学会共同シンポジウム：口腔乾燥症新分類案（仮）
- ・認知症シンポジウム：認知症の人の口を支えるために（仮）
- ・学術シンポジウム：口腔機能低下症のブラッシュアップ（仮）
- ・特別シンポジウム：超高齢社会において安全な歯科医療を提供するために（仮）
- ・国際シンポジウム：World Geriatric Dentistry Update
- ・地域歯科医療シンポジウム（支部組織・地域医療委員会）：地域歯科医療の歩みと未来
- ・歯科衛生士シンポジウム：認定歯科衛生士（老年歯科）のこれまでの10年、これからの10年を考える（仮）
- ・学術用語ミニシンポジウム：多職種連携におけるコミュニケーション・ツールとしての用語の重要性（仮）
- ・表彰委員会ミニシンポジウム：地域高齢者の食支援を地域資源に繋げていく試みと医療や介護の専門職の果たす役割（仮）
- ・摂食嚥下若手企画ミニシンポジウム：「自分の将来をどう決める？ ～新規出発した診療科の実情～」
- ・教育講演 1：高齢者に特有の粘膜疾患，その診断と対

応（仮）

- ・教育講演 2：嚥下リハからみた口腔機能低下症
- ・教育講演 3：糖尿病内科と歯科との連携（仮）
- ・支部長会，課題口演，認定医審査ポスター，摂食機能療法専門歯科医師審査ポスター
- ・歯科衛生士交流会

大会期間中に記念式典，記念祝賀会を企画しています。また「健康長寿を支える老年歯科の決意」と題した記念シンポジウムも記念式典の一環として実施いたします。これらには学会参加者はどなたでも参加可能です。11月半ばに参加登録が開始されます。オリンピック・パラリンピックの影響で宿泊が確保しにくいかもしれません。早めのお手配をお願いいたします。

また，大会のフライヤーを本ニュースレターと併せて同封しております。そちらもご確認ください。



委員会だより

利益相反委員会

委員長：植田耕一郎
委員：杉原直樹（副委員長）、小笠原 正
竹島 浩、三浦雅明
幹事：阿部仁子

本委員会の目的は、利益相反（Conflict of Interest: COI）に関わる業務の遂行です。COI とは、外部との経済的な利益関係などによって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。もともと利益相反は金融・証券関係で問題視されることが多かったのですが、2001 年以降、大学における利益相反問題がたびたび指摘されるようになりました。大学や研究機関に所属する科学者は、当然のこととして客観的で公正な研究成果を期待されています。しかし、

研究の過程で金銭的な利益関係が生じていると、その成果に対して疑念が生じるばかりでなく、実際に研究者自身の判断に金銭などの提供元が有利になるようなバイアス（偏り）が生じるという研究結果も報告されています。そこで、民間企業と大学の産学連携の透明性を確保するために、まずは利益関係を開示するというのが産学連携の適切な管理の第一歩といえるわけです。利益相反委員会では、これまでの利益相反に関わる規則の継続と、必要に応じた見直しを行っており、今年度より倫理申請申告の際に COI 申告書の提出も同時に行うことで規則を変更いたしました。

2020 年は学会設立 30 周年記念学術大会が開催されます。テーマは「健康長寿を支える老年歯科の誇りと決意」です。COI を基本とした研究への「誇りと決意」を掲げつつ、多くの意欲ある演題発表とともに活発な意見交換がなされることを希望します。

研究倫理の啓発⑦ ～倫理審査はどうすればよいのか？～

倫理委員会副委員長 大野友久、委員長 竹島 浩

前回までに、人を対象とする医学研究、そして通常診療の範囲を超える症例報告では倫理審査と倫理審査委員会の承諾が必要であると説明しました。基本にご自身の所属機関に倫理審査申請をしていただきますが、所属機関に倫理審査に関する部署がない場合、学会の倫理審査委員会に審査申請をしてください。ただし、その前に倫理研修を受講する必要があります。学会では無料で e ラーニングを受講できるシステム（APRIN e ラーニングプログラム）を用意しておりますので、下記アドレスをご参照ください。

<http://www.gerodontology.jp/info/001233.shtml>

テキスト形式による学習とクイズ形式の試験で構成されており、合格すれば受講証明が取得できます。受講証明の有効期間は受講日から 1 年間で、その期間を過ぎる

と再度受講が必要になります。まずは受講証明を取得し、その後倫理審査申請をお願いします。

- ・人を対象とする医学研究、通常診療の範囲を超える症例報告では倫理審査が必要
- ・倫理審査申請の前に倫理研修とその受講証明が必要
- ・学会では e ラーニングで受講できるシステムを用意
- ・有効期間は 1 年間で、毎年受講が必要

※第 31 回学術大会の演題募集が 12 月 1 日よりいよいよ始まります。

本大会より、倫理審査委員会の承諾が必要な演題に関しては、承諾を得ている旨の記載がない場合、受理されません。ご注意ください！

第6回歯科衛生士関連委員会主催セミナー開催報告

歯科衛生士関連委員会委員長 石黒幸枝

2019 年 7 月 15 日(月・祝)に品川にて、「口腔機能の実践」をテーマに、実習中心のセミナーを開催しました（参加者 49 名）。実際の測定機器を使った実習により、口腔機能低下症の 7 つの評価項目すべてを体験できる内容に、参加者からも、「実際にやってみると難しい項目があることがわかった」「明日からの診療に活かしていきたい」との感想が寄せられ、活発な質疑応答が行われるなど、実りのあるセミナーとなりました。



実際の機器を用いて行われた実習中での一コマ

令和元年度老人保健健康増進等事業(老人保健事業推進費等補助金)の紹介

2019 老健事業特任委員会委員長 吉田光由

本学会から令和元年度老人保健健康増進等事業(老人保健事業推進費等補助金)に応募した結果、本年度も無事採択されましたので、その概要をご報告いたします。

○事業名

介護保険施設等における口腔の健康管理等に関する調査研究事業

○特任委員会構成

佐藤裕二(事業取りまとめ者)、吉田光由(特任委員会委員長)、渡邊 裕(特任委員会副委員長)、秋野憲一、足立 融、石黒幸枝、伊藤加代子、糸田昌隆、井上 誠、猪原 健、岩佐康行、岩崎正則、梅本文二、太田博見、大野友久、尾崎由衛、小原由紀、貴島真佐子、小玉 剛、阪口英夫、坂本まゆみ、佐々木力丸、柁安秀樹、恒石美登里、中島純子、西 恭宏、花形哲夫、平野浩彦、古屋純一、吉岡裕雄、渡部芳彦

○事業内容

介護施設において協力歯科医療機関の届け出は9割を超えています。口腔衛生管理体制加算を実施している介護保険施設は約60%にすぎません。厚生労働省の介護給付費等実態調査月報から過去3年間の同月における全介護サービス件数に対して、口腔衛生管理体制加算および口腔衛生管理加算が占める割合を算出したところ増加の傾向はみられず、おのおの約2%、0.2%とほんのわずかでした。口腔機能が栄養状態や身体機能に及ぼす影響が近年明らかにされ、施設入所者の心身および認知機能の低下や口腔内環境の複雑化が進み、より専門的な対応が必要となってきた状況が予想されるなか、介護現場での口腔管理の実態は数字上、停滞しているようにも思われます。この状況を背景に、平成30年度の介護報酬

の改定では、口腔衛生管理加算の要件が緩和され、口腔衛生管理体制加算の算定対象となる施設が拡大し、口腔衛生管理加算の算定要件の見直しが行われました。

そこで本事業では、改定による口腔衛生管理の充実や、取り組みの変化を検証するため、介護保険施設における口腔の健康管理に関するサービスの実施状況などの把握と分析を行う予定としています。さらに、実施されているサービスが、要介護高齢者の口腔の健康にどのように反映されているかに関する検討や介護報酬改定後の口腔衛生状態や口腔機能の変化に関する要因分析などを行うなかで、要介護高齢者の口腔の健康維持に対する協力歯科医療機関の役割を分析するとともに、入所者の口腔の健康維持を図るための指針を作成する予定としています。一部の会員の先生方には郵送によるアンケート調査が届くことになるとと思いますが、その際にはご協力よろしくお願いいたします。



8月2日に品川にて行われた会議の様子

国際渉外だより

国際渉外委員会委員長 小野高裕

11th IAGG Asia/Oceania Regional Congress
(10月23～27日、台北)の会期中、老年歯科医学シンポジウム“**IAGG-TAGD Joint Symposium**”が開催されます！

日時：2019年10月25日(金) 13:00～17:30

場所：台北國際會議中心

テーマ：口腔機能と全身の健康・全身疾患との相互作用
(New horizon of the gerodontology for 2020: Interactions of oral functions and the underlying links to systemic illnesses vs. health)

本学会からは、水口俊介先生(医科歯科大)、平野浩彦先生(東京都健康長寿医療センター)、堀一浩先生(新潟大)の3名が登壇します。IAGGに参加される方はお見逃しなく！



<https://www.iagg2019.org/>
(IAGGのサイト)

専門医活動レポート

森田一彦先生

(静岡県・森田歯科医院)

浜松市で開業して 36 年が経ちました。大学卒業後は地元に戻って、浜松医科大学歯科口腔外科と同大学の生化学教室でお世話になり、臨床のみならず研究の方法や論文の書き方を勉強しました。

開業した当初から障がい者、有病者、在宅療養者、入院中の方や施設入所中の方などから依頼を受け、できる範囲で治療させていただいてきました。

日本老年歯科医学会ではそれぞれの専門分野のエキスパートの先生方が集まっているのが特徴だと感じています。日本老年歯科医学会の先生方の指導を受け、いろいろなスキルを身に付けることができたことに感謝しています。

最近では受診される高齢者の年齢層も随分高くなりました。それに加えて LGBT、神経難病、周術期やターミナルケア、緩和医療、そして摂食嚥下に関わることまで、開業医の治療対象者がどんどん広がっているように感じます。

毎日が診療に追われている開業医の先生方に学会やセミナーの情報を伝え、学会で発表できるようにお手伝いすることも老年歯科専門医の活動の一つだと考えています。

地域で診療をしている開業医は、大学での教育や研究に

関わる先生、病院にて診療をされている先生とは視点も立ち位置も全く異なるものだと思っています。開業医として現場で患者さんや家族に寄り添った治療を心がけています。

日本老年歯科医学会で得られたそれぞれの情報やデータを、地域に根差した開業医の先生方につなげて実践していただくのが専門医の使命と考えています。



今では少なくなったと思いますが、施設のベッド脇にポータブルトイレを設置して生活されている方との歯科治療後のツーショット（写真掲載にあたっては、当時の施設、ご本人、ご家族に承諾をいただいています）

新規 専門医認定者の声

尾崎研一郎先生（足利赤十字病院リハビリテーション科）

私は 2010 年に足利赤十字病院のリハビリテーション（リハ）科に赴任して歯科部門を開設しました。当初、歯科診療室はなく、ステンレスカートに口腔衛生や応急的な歯科処置ができる最低限の診療器材を乗せて、リハ科依頼患者の口腔管理を行うことから始めました。その後、徐々に歯科スタッフが増え現在は 5 人体制になり、入院患者用の歯科診療室も完成しました。症例報告書ではリハスタッフと連携した摂食嚥下障害の事例を中心に提出しました。専門医取得のために、日々の臨床を意識して記録しておくことが重要だと思います。試験問題は老年歯科に関わる基本から応用まで幅広く出題されていました。今後は、専門性を意識して臨床だけではなく研究、教育にも力を入れたいと思います。



横山 薫先生（仁厚会病院口腔外科）

私は、大学に 20 年間おりました。当初は頭頸部腫瘍術後患者を診ることが多かったのですが、年齢や疾患が年々多様化して、終末期に近い患者のリハビリ依頼も多くなりました。疾患や病期が違えば治療・訓練目標もさまざま、現在も何がベストか頭



を悩ませる毎日です。専門医試験の症例報告では、原疾患・基礎疾患の病期を意識して作成しました。筆記試験では、社会制度や基礎疾患を有する高齢患者の診療に必要な基礎知識を問う設問が多い印象でした。

昨年より口腔機能低下症の診療が本格的にスタートして、さらに守備範囲が広がり目の回る思いですが、今後も高齢者の診療に日々精進していきたいと思っています。

渡邊 哲先生（愛知学院大学歯学部顎顔面外科学講座）

久しぶりに試験勉強をして、専門医試験を受けました。専門が口腔外科ですので補綴治療や社会保障に関連するような問題はやや悩みましたが、試験を受けたことで、学会が専門医に求めていることがわかりました。大学勤務ですので、学生教育があります。各科目で老年歯科に関連する部分もありますが、高齢者歯科診療において何が必要で、何が求められているか、老年歯科専門医の立場から系統的に教育できるように学生指導にも活かしたいと思っています。また、今後さらに高齢化が進みますので、後進の育成にも尽力したいと思います。



支 部 だ よ り

愛知支部共催セミナー
「東海オーラルマネジメント研究会」開催報告

愛知支部 岡本美英子

2019年7月21日(日)に第6回東海オーラルマネジメント研究会が開催されました。「緩和ケアでのオーラルマネジメント」をテーマに、聖隷三方原病院の森田達也先生、京都大学緩和ケア・老年看護学分野の田村恵子先生、坂井歯科医院の坂井謙介先生にご講演いただきました。今回は、歯科医師・歯科衛生士・医師・看護師・管理栄養士とさまざまな職種から180名にご参加いただきました。それぞれの立場からみた緩和ケアを学ぶことができ、また多職種連携の必要性を再認識する良い機会になったと参加者からは好評でした。



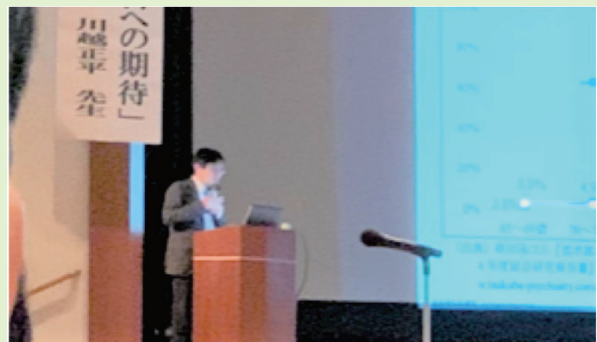
写真左上：森田先生，右上：田村先生，左下：坂井先生

九州地域支部セミナー
「第3回九州老年歯科フォーラム
in 長崎」開催報告

長崎支部 角町正勝

2019年8月4日(日)、長崎県歯科医師会館で第3回の九州老年歯科フォーラムを開催しました。

テーマは「加速する高齢社会に向けた私達の対応～地域の備え！安心安全な食支援と在宅医療の展開～」で、九州7県から、歯科関係者を含め、保健師、看護師など107名の参加がありました。基調講演は川越正平先生の「地域包括ケア時代の歯科への期待」、シンポジウムは「地域を支える多職種連携の重要性」という企画で盛り上がりしました。

基調講演の川越先生（写真上）と
シンポジストの先生方（写真下）岐阜支部共催セミナー
「第24回東海歯科医療管理学会総会・学術大会」
開催報告

岐阜支部 玄 景華

岐阜支部は、2019年9月8日(日)に岐阜県歯科医師会館にて、第24回東海歯科医療管理学会総会・学術大会(大会長：西垣公順先生)を共催しました。特別講演として、糸田昌隆先生(大歯大・口腔保健学科教授)から「歯科医院での摂食嚥下障害への対応」、佐藤裕二先生(昭和大・高齢者歯科学講座教授)から「口腔機能低下症の検査・診断・治療」をご講演いただきました。当日は関東地方に大きな被害をもたらした台風15号の接近がありましたが、参加者61名を得て、有意義なセミナーとなりました。

糸田先生（写真左）、佐藤理事長（写真右）に有意義な
ご講演をいただきました

学会だより

第7回高齢者医療 臨床研修会を開催します！

「多職種連携のための入門研修」

日 時：2019年12月15日（日）13:00～17:00

会 場：ベルサール神保町アネックス

★詳細は、学会ホームページ（下記 QR コードからもアクセスいただけます）をご参照ください。



支部セミナーのご案内

★詳細は学会ホームページでご確認ください。

岡山支部共催セミナー「岡山大学摂食嚥下障害研究会 食支援ネットワーク 100 回記念講演会」

日 時：2019年11月3日（日）

10:00～13:00

会 場：ピュアリティまきび（岡山）

テーマ：「食べ方」に困ったらどうしましょう？

主 催：岡山大学病院，岡山県

静岡支部主催「オーラルフレイルを理解する」研修会

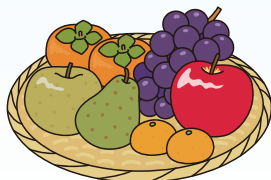
日 時：2019年12月14日（土）

16:00～18:00

会 場：三島市民活動センター（静岡）

テーマ：地域包括ケアシステムの中でオーラルフレイルをどう活かすか

主 催：静岡支部，口腔ケアネットワーク（三島）



Twitter（公式）で発信してください！！



学会では本会活動を広く社会へ発信するために Twitter（公式）を利用・運用しております。

本会主催事業，支部活動，学術的根拠がある内容（論文やガイドラインなど）を「#老年歯科」をつけて，簡単なコメントと画像でツイートしましょう。皆様の本会会員としての活動を発信する場として活用してください！

学会の公式アカウントのフォローもよろしくお願いします。

Facebook（公式）の いいね！ もお待ちしております。



会員向けメールマガジンの配信について

学会情報を提供しているメールマガジンは届いていますか？「@oha1.heteml.net」からのメールを受信設定してください。

メールは会員の皆様へ学会情報を提供するツールです。必ず登録をお願いします。登録情報の確認は学会事務局までご連絡ください。



編集後記

九州北部豪雨，台風15号により被災された皆様に，心よりお見舞い申し上げます。当学会ウェブサイトでは，災害時高齢者医療マニュアルを公開しておりますので，参考にいただけたら幸いです。今号では，日本老年歯科医学会学会設立30周年記念大会のご案内を掲載しました。新しいパシフィコ横浜での学会にぜひふるってご参加ください。（小原由紀）



発行人 佐藤裕二
編 集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電 話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341
E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp